

若者問題論Ⅱ

科目ナンバリング SOC-326
選択 2単位

井上 慧真

1. 授業の概要(ねらい)

若者問題論Ⅱでは、若者とさまざまな他者とのつながりに注目しながら、現代社会の様々な問題について考えます。具体的には家族、友人、恋人やパートナーとの関係が現代社会のなかでどのように変化しているか、社会学の視点から考えます。

2. 授業の到達目標

若者について、履修者各自の関心のあるテーマを「社会学から」考える視点を身につける。
履修者が講義内容を理解し、小テストに取り組むことができる。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業における小テストの合計により評価

4. 教科書・参考文献

参考文献

作田啓一・井上俊編 『命題コレクション社会学』 筑摩書房、2011年

岩間暁子・大和礼子・田間泰子編 『問いからはじめる家族社会学』 有斐閣、2015年

荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗編 『＜教育＞の社会学 新版一常識の見方・問い直し方』 有斐閣、2010年

5. 準備学修の内容

シラバスおよび授業中に提示する参考書等を読み、授業内容についての理解を深めること。

6. その他履修上の注意事項

小テストは期限までに受験すること(期限を過ぎてから提出されたものは成績評価の対象としません)。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 教育①いじめ
- 【第3回】 教育②インターネットの浸透と子ども・若者一友達づきあいの変化
- 【第4回】 教育③インターネットの浸透と子ども・若者一生活時間の変化
- 【第5回】 教育④不登校
- 【第6回】 教育⑤ 校則
- 【第7回】 教育⑥体罰
- 【第8回】 教育⑦子どもの教育と家族
- 【第9回】 家族①家族のかたちの変化
- 【第10回】 家族②結婚・子どもをめぐる意識の変化
- 【第11回】 家族③通過儀礼と家族一結婚式から
- 【第12回】 家族④性の多様さとパートナーシップ
- 【第13回】 家族⑤児童虐待
- 【第14回】 家族⑥子どもの貧困
- 【第15回】 家族⑦生きることの悩みと相談体制